

私は日本共産党を代表致しまして、議案第 22 号野田市立木間ヶ瀬保育所の指定管理者の指定について反対する立場で討論致します。

この議案は、今後 7 年間、指定管理者として株式会社コピーアンドアソシエイツを指定しようとするものとなっています。

わたくしたちは、指定管理者制度そのものに反対しております。

今回の市政報告に東部保育所が民設民営化に移管する方向であるとの報告がありました。保護者からは「保育環境の改善及び保育士の確保につながるのであれば」という意見が出たとのこと。施設の改善については民設であろうが、公設であろうが共通の課題であり、保護者の願いは当然のことです。

しかし、保育士確保の問題は処遇改善費の課題が残されたままです。民間施設でも大きな課題となり、保育士が全員替わるという実態もあります。今後、ここへの支援がなされなければ、保育料の値上げにもつながるのではないかと危惧しております。また、言うまでもなく民間は営利が見込めなければ撤退も可能です。

安心・安全な保育を継続するためにも、この議案第 22 号木間ヶ瀬保育所の指定管理の指定について反対といたします。